

地中障害物について

【地中障害物の詳細】

※ 令和4年2月に児童養護施設仮園舎の建設事業者から受けた報告に基づく内容

・地中障害①～⑥

コンクリートの塊（6個）を平屋建のB棟の基礎と干渉するために撤去後、粉碎し、処分（平楽中学校のバスケットゴールの基礎等の埋め殺しと思われる）

・地中障害⑦

地中にコンクリートブロックの塀があり、障害部分を粉碎し、撤去処分

・地中障害⑧

2階建のA棟の杭打設時に地盤から 0.9m～1.4mの深さに鉄筋コンクリートの階段（幅2m）が当たり、障害部分を粉碎し、撤去処分

・地中障害⑨

2階建のA棟の下に深さ 3m 位のコンクリートの箱（2m×3m 程度）があり、部分解体し、補強して鋼管杭打ち（平楽中学校のトイレがあったので、その浄化槽と思われる）

・地中障害⑩

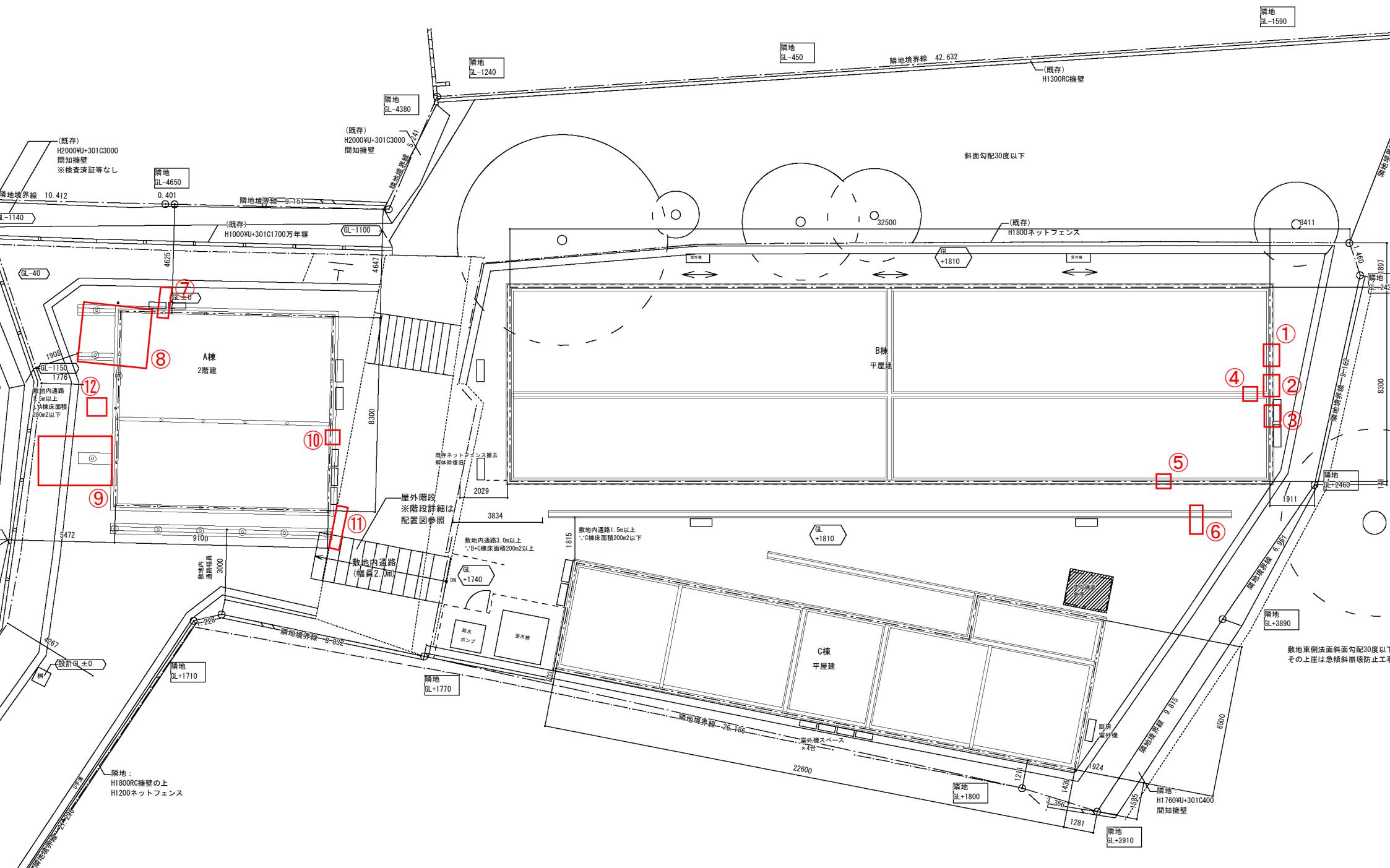
2階建のA棟の地盤から 60cm の深さに 60cm 角の枠（鉄蓋共、深さ 50cm）が埋設されていたので撤去処分（枠の上に土を盛って埋め殺し状態）

・地中障害⑪

元斜面部分に建築物のコンクリート床（深さ 30cm 程度）、基礎（深さ 1m 程度）の埋設を確認、障害部分を粉碎し、撤去処分

・地中障害⑫

コンクリート枠（70cm×90cm×210cm 程度）あり







地中埋設物④

400 × 500 × 800



地中埋設物⑤

幅400の梁
地盤面から-400で出土



地中埋設物⑥

幅400の梁
地盤面から-400で出土



⑦
コンクリートブロック塀



⑧
現状地盤から900の位置に
工作物あり（階段）
X1通り

現状地盤から-1400地点



⑧
現状地盤から900の位置に
工作物あり（階段）
X1通り

現状地盤から-1400地点
幅2m
階段に付属してスロープ
あり



⑨
コンクリートの箱確認



⑨
コンクリートの箱確認



⑨
コンクリートの箱確認

(2m × 3m程度)



⑩
コンクリート枠確認



⑩
コンクリート枠確認
600×600



⑩
コンクリート枠確認
深さ500





⑪
H=300程のスラブ確認



⑪
破碎していくうちに昔の
建物の地中梁
のような配筋
H=1000程



⑫
コンクリート塊
700x900x2100